

T S7/5/1

7/5/1

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

06873477 **Image available**

IC CARD SYSTEM FOR COMPUTER USE ENVIRONMENT SETTING

PUB. NO.: 2001-100982 [JP 2001100982 A]

PUBLISHED: April 13, 2001 (20010413)

INVENTOR(s): YAMADA MASANARI

SHIBATA NAOTO

SAITO HIROO

MORIYAMA AKIKO

APPLICANT(s): DAINIPPON PRINTING CO LTD

APPL. NO.: 11-278680 [JP 99278680]

FILED: September 30, 1999 (19990930)

INTL CLASS: G06F-009/06; G06K-017/00; G06K-019/00

ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To enables an individual to manage personal information used by a computer.

SOLUTION: This system comprises an IC card 10 which stores personal information for setting computer use environment and is managed by an individual and a computer 20 having an incorporated use environment setting means which reads out the personal information when the IC card is set and sets the use environment of the computer.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO

?

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-100982

(P2001-100982A)

(43) 公開日 平成13年4月13日 (2001.4.13)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード [*] (参考)
G 0 6 F 9/06	4 1 0	G 0 6 F 9/06	4 1 0 B 5 B 0 3 5
G 0 6 K 17/00		G 0 6 K 17/00	L 5 B 0 5 8
19/00		19/00	T 5 B 0 7 6

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全4頁)

(21) 出願番号 特願平11-278680

(22) 出願日 平成11年9月30日 (1999.9.30)

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 山田真生

東京都新宿区市ケ谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 柴田直人

東京都新宿区市ケ谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(74) 代理人 100092495

弁理士 経川 昌信 (外7名)

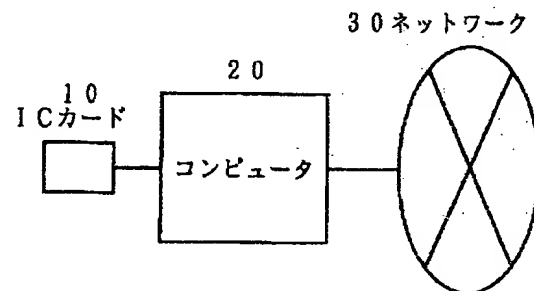
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 コンピュータ使用環境設定ICカードシステム

(57) 【要約】

【課題】 コンピュータにおいて使用される個人情報を個人で管理できるようにする。

【解決手段】 コンピュータ使用環境を設定するための個人情報が記憶された各個人が管理するICカード10と、該ICカードがセットされたとき、前記個人情報を読みだしてコンピュータの使用環境を設定する使用環境設定手段を組み込んだコンピュータ20とからなるものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータ使用環境を設定するための個人情報記憶された各個人が管理するICカードと、該ICカードがセットされたとき、前記個人情報を読みだしてコンピュータの使用環境を設定する使用環境設定手段を組み込んだコンピュータとからなるコンピュータ使用環境設定ICカードシステム。

【請求項2】 個人情報として、メールアドレス、ホームページのブックマーク、グラフィカルユーザインタフェースの設定パラメータ値、表示言語の使用情報の少なくとも1つをICカードに記憶させることを特徴とする請求項1記載のコンピュータ使用環境設定ICカードシステム。

【請求項3】 前記個人情報を暗号化して記憶させることを特徴とする請求項1記載のコンピュータ使用環境設定ICカードシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は複数のユーザが使用可能なコンピュータにおいて個人情報を管理して使用環境を設定できるようにしたICカードシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】図5はネットワーク環境で使用するコンピュータの場合を示し、ネットワークに接続された各コンピュータ1、2を使用する個人が設定した使用環境の設定情報は、サーバ3で管理してその記憶媒体に記録されるケースが多い。また、図6に示すように、1台のコンピュータを複数のユーザが使用する場合、個人情報はコンピュータ内の1箇所に記録されるケースがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】個人情報がサーバの記憶媒体に記録されている場合、その情報は、パスワードを持つ管理者によって自由に参照可能であり、また、サーバに不正に侵入された場合、個人が責任を持って情報を管理していても、サーバ管理によって情報が漏洩する可能性がある。

【0004】また、複数ユーザが使用するコンピュータの場合、個人情報が他のユーザに参照される可能性のあるところに格納されるため、データの信頼性に問題があり、また、複数ユーザが使用するコンピュータのユーザインタフェースが、個人向けにカスタマイズできないケースがある。

【0005】本発明は上記課題を解決するためのもので、コンピュータにおいて使用される個人情報を個人で管理できるようにすることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明のコンピュータ使用環境設定ICカードシステムは、コンピュータ使用環境を設定するための個人情報記憶された各個人が管理

するICカードと、該ICカードがセットされたとき、前記個人情報を読みだしてコンピュータの使用環境を設定する使用環境設定手段を組み込んだコンピュータとからなることを特徴とする。また、本発明は、個人情報として、メールアドレス、ホームページのブックマーク、グラフィカルユーザインタフェースの設定パラメータ値、表示言語の使用情報の少なくとも1つをICカードに記憶させることを特徴とする。また、本発明は、個人情報を暗号化して記憶させることを特徴とする。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。図1はネットワークに接続されたコンピュータに本発明を適用した場合の概念図、図2は複数のユーザが使用するコンピュータに本発明を適用した場合の概念図、図3は個人情報を格納したICカードを説明する図、図4は使用環境の設定の説明図である。図1においては、ネットワーク3に接続されているコンピュータ2を利用する場合に、使用環境を設定する個人情報が格納されているICカード10をセットして利用する。図2においては、1台のコンピュータ4を複数のユーザが利用し、各ユーザは使用環境を設定する個人情報が格納されている各自のICカード11、12……1nをセットしてコンピュータを使用する。各個人情報はICカード保持者が行う。

【0008】ICカードはコンピュータに搭載されているリーダ/ライタとデータのやりとりをするインタフェース、乱数の発生、暗号処理、その他各種演算機能を有する演算装置、制御用プログラムを格納したROM、作業領域を提供するRAM、各種アプリケーションソフト、データを格納する不揮発性メモリを有している。

【0009】図3に示すように、ICカードの不揮発性メモリには、例えば、メールアドレス、ホームページのブックマーク、GUI（グラフィカル・ユーザインタフェース）の設定パラメータ値、使用言語情報等の個人情報が格納されている。そして、このICカードをコンピュータにセットすると、図4に示すように、コンピュータのアプリケーション・ソフトウェアが起動して個人情報をRAM内に読み込み、これを基にコンピュータのユーザインタフェースの使用環境を設定する。設定方法としては、例えば、コンピュータの標準使用の環境を個人情報に基づいて一部変更するなどにより行う。個人情報はRAM内に読み込まれるだけで、ICカードをログオフしたときには消去される。なお、ICカードの暗号処理機能を用いて個人情報を暗号化して記録しておき、ICカードをログインしたときに複合化して利用することも可能であり、一層個人情報の秘匿性を改善することができる。個人情報を暗号化する場合、これをコンピュータ内に記憶させても秘匿性は保持される。その場合は、ICカードに複合化キーを記憶させておき、ICカードをログインしたときにコンピュータのアプリケーション

ョン・ソフトウェアが起動して複合化キーを読み込み、コンピュータ内で複合化処理を行うようにすればよい。なお、これらの個人情報はICカードをコンピュータにセットしたときの初期応答情報（Answer to Reset）により外部に通知するようにしてもよい。

【0010】次に個人情報の例について説明する。個人情報として送信先のメールアドレスを記憶させておくと、例えば、宿泊施設等で通常使用するコンピュータとは異なるコンピュータを使用する場合、このICカードを持ってさえいれば、これをセットすることによりメールアドレスを瞬時に呼び出して送信することが可能であり、個人情報の秘匿性と携帯性を実現できる。なお、ICカードはログインのときのIDとして使用するようにしてもよい。

【0011】また、よく閲覧する、または後に読む可能性のあるホームページに対してブックマークを設定するが、このブックマークをICカードに記録し、コンピュータには記憶させないようにする。この方法により、同じコンピュータを複数のユーザがログインして使用する場合、他のユーザによって個人のブックマークが参照されるケースを無くすことができ、安全で快適なネットサーフを行うことができる。

【0012】また、個人向けに設定したGUIの設定パラメータ値をICカードに記憶させることで、通常使用するコンピュータとは異なるコンピュータを使用する場合であっても、ICカードからパラメータに関する情報を読み出し、GUIの設定を個人向けに変更することが可能である。

【0013】また、複数の言語で使用可能なユーザインタフェースを備えたマシンにログインする場合、ICカードからカード保持者の使用言語に関する情報を読み出し、その情報に合わせた表示、または音声出力を行うようにしてもよい。別の国のマシンを利用する場合に効果的である。また、決済処理において、複数の通貨の乗り*

*入れを行う場合、違う言語を使用するユーザに対して、応答メッセージ、音声等でガイドすれば効果的である。

【0014】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、コンピュータの使用環境を設定する個人情報をICカード保持者が管理することにより、個人情報の秘匿性と安全性を高めることができる。また、違うコンピュータを利用する場合でも、個人データをICカードから読みだすことによって、通常と同じ環境で使用することができる。また、ICカード保持者に合わせた使用環境の設定を行うことで、より柔軟性のあるインタフェースが実現でき、ICカードの利便性を向上させることができる。また、1台のリーダ/ライタ、或いはリーダ/ライタを搭載した機器の使用で、複数の通貨単位をサポートするためのインタフェースを実現し、通貨の相互乗り入れに対する視覚的、聴覚的なサポートを行うことができる。また、個人情報を暗号化することで、カード保持者特有のデータに関する機密性を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 ネットワークに接続されたコンピュータに本発明を適用した場合の概念図である。

【図2】 複数のユーザが使用するコンピュータに本発明を適用した場合の概念図である。

【図3】 個人情報を格納したICカードを説明する図である。

【図4】 使用環境の設定の説明図である。

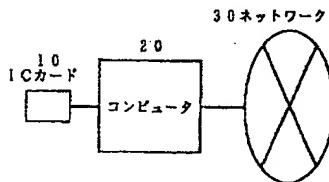
【図5】 従来のネットワーク環境で使用するコンピュータの個人情報管理の説明図である。

【図6】 従来の複数のユーザが使用するコンピュータの個人情報管理の説明図である。

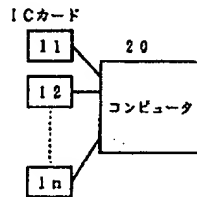
【符号の説明】

10、11、12…1n…ICカード、20…コンピュータ、30…ネットワーク。

【図1】



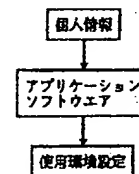
【図2】



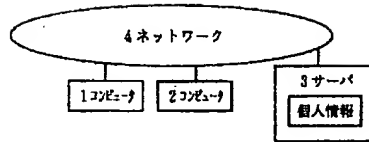
【図3】



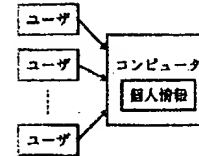
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(72)発明者 斎藤博夫
 東京都新宿区市ケ谷加賀町一丁目1番1号
 大日本印刷株式会社内

(72)発明者 森山明子
 東京都新宿区市ケ谷加賀町一丁目1番1号
 大日本印刷株式会社内

Fターム(参考) 5B035 AA14 BB09 BC03 CA11 CA38
 5B058 KA35 YA13
 5B076 AA03 BA10